

2009年6月25日(木):大系タイムスに掲載!

東京で地域活性学会研究大会

09年度地域活性学会第1回研究大会は「今求められる『地域力』とは」をテーマに7月11、12の両日、東京都千代田の法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎で開く。一般研究発表、研究部会発表、特別講演、シンポジウムなど行われる。

同大会では、毎年大町市で開催している「北アルプス山麓(ろく)アドベンチャーゲームズ2001」の矢口正武代表(62)が、東京都渋谷区IIが11日午後4時から、「地域

資源を活用した参加型スポーツイベント。長野県大町市におけるアウトドアスポーツをケースとして」をテーマに事例発表する。

2009年7月11日(土):信濃毎日新聞朝刊に掲載!



矢口さんのグループが開いている仁科三湖の「スイム&ラン」。昨年7月は県内外の約60人が参加した

野外スポーツでまちづくり 大町の活動、学会発表へ

大町市で毎年、野外スポーツイベントを開いているまちづくりグループ「元氣・まちネット」が、東京都墨田区II代表の矢口正武さん(62)が、11、12日に法政大学(東京)で開く「地域活性学会」で同市での取り組みの成果を報告する。山や川、湖など自然に恵まれた環境が気に入る、全国から参加者が集うイベントを自主的に開いてきた。「県外の大町ファンと地元がもっと連携し、大町の良さを発信していくべきだ」と話している。

★ 「元氣・まちネット」は2000年以降、大町市内でマウンテンバイクやカヤックなどを楽しむレース「北アルプス山麓アドベンチャーゲームズ」や、水泳とランニングで仁科三湖(青

東京の地域の魅力発信をグループ

木、中綱、木崎湖)を結び「仁科三湖縦断アドベンチャー・スイム&ラン」を開いている。両イベントにはこれまで、県外から延べ3千人ほどが参加。「元氣・まちネット」は東京都渋谷区恵比寿で開かれる市民まつりでも、大町市産農産物の販売などを通して同市をPRしている。矢口さんは、同学会の「地域資源活用事例」をテーマとした発表会場で成果を報告。イベント参加者へのアンケートや経済効果の試算などを基に、これまで開いたイベントが、都市と地方の交流促進や地域ブランド育成に一定の効果をもたらした、と紹介する予定。今後の課題では、地元住民や行政と企画・運営面などで協力し、地域資源の掘り起こしを継続することを挙げる。地域活性学会は昨年、研究者、行政、NPOなどの参加により地域活性化の方法論などを探る趣旨で設立し、今回が初の研究大会。「地域ブランド」「人材育成・活用」「地域経営」など12テーマに分かれ、2日間で44人が発表を予定している。